



# 津幡南中だより

津幡町立津幡南中学校

校長 永井 隆和 Tel.288-7420

令和4年11月30日(水) NO.8

校訓

☆燃えるような情熱

☆ひたむきな純粋さ

☆たゆみない向上心



## 「私たちに与えられた4000週間」

校長 永井 隆和

先週2学期期末テストがあり、今年の定期テスト4回を終えました。早いもので、今年のカレンダーも最後の1枚となります。毎年繰り返されますが、12月に入ると、今年1年自分なりにどのような1年だったのだろうかと考えます。(今年も、計画に従って順調に進めることができたのだろうかなど。)

そんな時、本屋で目に留まった本との出会いで、また新しい考え方が生まれたような気がしました。そのタイトルは『限りある時間の使い方(著者:オリバー・パークマン)』という本です。

最初に目に飛び込んできたワードは、「私たちに与えられた4000週間」という言葉でした。4000週間とは?何の期間?それは、わたしたちが80歳まで生きるとしたなら、与えられた時間を週で数えると4000週間ということなのです。15歳なら約750週間を使い終えたということです。何と私は3000週間を使い終わり、残り1000週間。(唾然)しかし、大切なことは時間が限られているということでも計画通り時間(スケジュール)をコントロールする必要でもありません。大事なことは、「時間をどう使うか」です。



あれもこれもというのではなく、現実的な問題から目をそらさず、目的をしぼることがポイントです。(SNS・漫画・YouTubeの誘惑に負け、問題から逃げてしまいがちです。)

今の私たちの生活に置き換えてみると、学校の年度の節目は3月ですが、暦の上では12月が締めくくりです。つまり今月のしぼるべきポイントの一つは、令和5年への準備と言えます。1,2年生は進級すること、3年生は進学することを今月から考えていきます。2年生は朝の講座学習スタート、3年生は統一テスト・過去問への取組と学力向上、受験に向けて頑張っています。今の世は何不自由なく良い環境や教育が与えられ、うまくいかないことや思い通りにならないことがあると人のせいにして責任転嫁する傾向が見られます。受験を間近にしている3年生は、特に主体的に「自分で決める」ことが大事になってきます。自分の責任と覚悟が生まれる人生最初の瞬間だと思います。1,2年生は来年・再来年その時を迎えます。次善を求めて最善を尽くしましょう。



さて、12月4日(日)から10日(土)は「人権週間」にあたり、最終日の12月10日は、世界人権宣言が採択された日で、「人権デー」に定められています。『「誰か」のことじゃない。』これは今年の人権週間のスローガンです。人権問題は、決して「誰か」のことではありません。各自が傍観者にならず、「思いやり」の気持ちにあふれた津幡南中学校にすれば、きっと居心地のよい空間になると思います。道のりは、まだまだ遠いようですが、本校生徒一人一人に、「思いやりの行動力」を高めてほしいものです。

保護者・地域の皆様には、今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

### ◆◆◆「津幡南中の学力向上」に向けて ◆◆◆

12月6日(火)、石川県内一斉に2年生を対象としたテスト(国語・数学・英語)が実施されます。子どもたちに、これまでの教科指導がどの程度定着しているのかを検証するためです。そして、来年4月に県基礎学力調査・全国学力調査が実施されます。(共に新3年生対象)

これまで津幡南中では、教員の授業力向上を目指し、その結果として生徒たちの学力調査結果に反映されるよう日々の授業改善に取り組んでまいりました。精一杯の努力を目に見える形で評価してもらうためには、良い結果を出すことが必要です。今後も、日々の実践で授業力を高め、子どもたちの学力向上に取り組んでまいります。





12月の生活目標

生活習慣を振り返り、自分自身を高めよう。

11月は「学習に腰を据えて取り組む1ヵ月」でした。校内を歩いていても、落ち着いて授業に取り組む姿や、熱心に学習課題に取り組む姿が見て取れました。来校されたお客様からも、みんなの学校生活についてたくさん褒めていただきました。これからさらにレベルを上げていくためには、振り返りが欠かせません。12月は、2学期や4月からの取組を振り返る月です。学校を高めるために、自分自身を高めるために、日々の生活習慣を振り返ろう。

12月は人権週間<12月4日(日)~12月10日(土)>



【10月末実施 2学期いじめアンケートより】

※ ( )の中は、昨年度と比較して	全校
学校が楽しい	97% (+3)
授業がよく分かる	93% (±0)
みんなで何かをするのは楽しい	98% (±0)
どんな理由があってもいじめは絶対にいけないことだ	89% (+2)

わずかではありますが、昨年度に比べて、数値が上がっています。学校の様子を反映していると思います。この数字に満足することなく、(いじめゼロ)を達成するために、自分自身の学校生活を振り返り、改善していこう。

「いじり」と「いじめ」の違い、あなたはどうか考える? (アンケートより)

- いじられる人が「嫌だ」と思ったら、いじめ。 ●いじめといじりも人のことを悪くいってたりバカにすることだと思う。
- 「いじめ」も「いじり」も人を嫌な気持ちにさせるので、どちらもしてはいけない。 ●ほとんど同じ。
- 「いじめ」はされる側、「いじり」はする側のとらえだと思う。 ●「いじり」は加速していくと「いじめ」になる。など

《今年1年の振り返りを!》

2022年も残りあと1か月です。4月からの9ヶ月間で、自分の学習に向けての意識や姿勢を向上させることはできたでしょうか。まずは、今年1年の振り返りとして、『ベル学』や『家庭学習』はもちろん、『話し方名人』『聴き方名人』『授業を受ける姿勢』について再度振り返っていきましょう。2学期に入り、学校生活に慣れてきて、様々な『ゆるみ』も見られるようになりました。3年生は、年が変わればすぐに入試が始まっていきます。『ゆるみ』を正し、進路実現に向けて頑張っていきましょう。

12月の学習目標について

自分に厳しく学習態度を振り返り、自身を高めよう

- 授業** グー、ペタ、ピンを意識して座っているか  
 話をしている人を見ながら聴いているか (聴き方名人・話し方名人)  
 提出物は期日を守れているか



聴き方名人への道

【入門編】聴きうごく

- ・うなずきながら聴く
- ・発言者を見ながら聴く
- ・静かに、最後まで聴く

【実践編】比較して聴く

- ・同じ意見
- ・似ている
- ・〇〇の部分は異なる

【Expert】話し方に応用させていく!

- 『~さんと同じ意見で、...です。』
- 『~さんと違い、...です。』
- 『~さんにつけ加えて、...です。』

お深い学びへ! 発展的な学び合いへ 進化!

